

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	南コルドファン州の紛争避難民及びホストコミュニティ 5 集落にて、児童への補習校支援を実施したことにより、登録児童 389 人のうち 387 人が修了、うち 355 人が正規の学校に就学し、事業実施地域での就学率が改善した。また、すでに定員以上の児童を受け入れており教室の不足が著しい正規の学校の校舎 2 棟（計 4 教室）を建設し、机・椅子(4 人掛け、計 48 セット)を支援したことにより、児童がより良い環境で学習を継続できる機会を得た。事業期間中に発生した武装グループによる住民への攻撃により、多くの避難民が流入した集落では、児童数が大幅に増え補習校の実施場所が不足したため、簡易校舎 4 棟を建設した。さらに、保護者や住民を対象とした教育・児童保護についての啓発活動や、定期的な会合によって自身の役割について確認する機会を持ったことにより、教育の重要性について理解が深まりつつある。これらの活動は、上位目標である、「南コルドファン州で紛争の影響を受ける人々が、地域社会の中でそれぞれが持つ能力を十分に発揮することにより、社会が安定する」に寄与した。 (第 1 年次) コミュニティの中の児童保護のシステムが強化され、紛争の影響を受ける児童が教育の機会を得て、就学を継続する
(2) 事業内容	1-1 補習校支援 (ア) 教師への研修 補習校の実施に先立ち、教師 23 人を対象に 5 日間の研修を実施した。研修では、教師としての経験が豊富な教育省の担当官を講師に迎え、教授法、授業の計画、クラス運営、評価の仕方などを学び、模擬クラスによる実技指導を行った。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、スーダン政府が全国の学校の休校を決めたことから、補習校も 3 月半ばから 9 月までの約 6 か月間の休校を余儀なくされた。9 月に再開の目途が立ったため、新規に参加する教師がいること、既存の教師の指導能力の回復・向上を図りカリキュラムや指導要領について全員が共通の認識をもつ必要があることから、教師 24 人に対し 3 日間の再研修を実施した。 (イ) 補習授業の実施 各集落で住民を対象に教育の重要性などについての啓発活動を行ったうえで、正規の学校に通っていない児童の登録を呼びかけ、510 人が登録した。児童数や就学状況を考慮し、5 つの集落（ティロ、ガルドウッド、タフリ、シャイール、ヘル・ジャディダ）に補習校 8 センターを設置した。なお、タフリ及びシャイールには各 1 センター、それ以外の 3 集落には各 2 センターとした。 休校中の 5 月、補習校の対象集落で武装グループによる襲撃が発生し、ティロの住民は近郊のティロ・アマラやタフリに避難を余儀なくされたために、9 月の再開時にはティロを 1 センターに減らし、タフリを 2 センターに増やした。また、児童の再登録を行い、最終的に 389 人が登録した。再開にあたり、8 月から 9 月にかけて、児童が集団行動及び学習再開に適応するため、アラビア語・算数の復習、絵描きやスポーツといったレクリエーションの場を各集落で 3 回ずつ提供した。 各校を巡回する郡教育局のスーパーバイザーから教師にアドバイスが行われるとともに、月 1 回定期的な振り返りを実施し、教師間で経験や課題を共有し、柔軟に活動の見直しを行った。また、現地協力団体（現地 NGO）の KURGY から派遣される専門家は、巡回への同行、教員会合や住民との話し合いへの参加、団体内部の打ち合わせにおける助言等によって、事業運営に参加した。

	修了試験には登録生徒 389 人の 99%にあたる 387 人が受験し、集落の保護者と教師が主体となり修了式を実施した。修了式には教育省、社会福祉省、教師、保護者、集落のリーダーなどが参加し、児童も教育や感染症予防に関する歌やダンスを披露するなどし、啓発活動の一端となった。 (ウ) 補習校校舎及び備品支援 教室の不足が著しいヘル・ジャディダ及びクルバ地区の小学校 2 校を選定し、校舎各 1 棟 (2 教室) 建設した。また、建設した 1 教室につき 12 セットの机・いすを支援した (計 48 セット)。 また上記の通り、タフリにティロや他集落からの避難民が多数流入して、補習校に参加する非就学児童が増加したことにより教室が不足したため、簡易な教室 4 棟を建設した。なお、簡易教室の建設については変更申請にて承認されている。 1-2 児童保護グループ支援 (ア) ソーシャルワーカー向け研修 中間報告書に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症対策のため、研修などの集会を控える必要が生じたため、UNHCR 事務所の児童保護担当官を講師に迎える予定で調整していた研修については、ソーシャルワーカーと同行して各補修クラスを巡回する現地スタッフ 4 人への研修に切り替えた。研修は外部講師ではなく、テキストを各自が学んだうえで、各自が取り組んだ箇所を発表して互いに学びあう形で実施した。 (イ) 児童保護グループへの啓発・研修 新型コロナウイルスの影響で児童保護グループへの研修が実施できなかったため、児童保護グループのメンバーに限らず、補習校参加児童の保護者で関心の高い住民も対象とし、教育の重要性等に係る啓発ワークショップを各集落にて 2 回ずつ実施し、延べ 468 人が参加した。また、新型コロナウイルスによる休校前までは、母親たちが給食の調理を交代で担当し、継続的に子どもが補習校に通えるようサポートする役割を果たした。補習校再開後には感染症拡大防止のために調理は実施しなかったが、教育への関心が高く行動力のあるメンバーを中心に定期的な会合をもったほか、修了試験の案内、修了式の運営や集落への呼びかけなど一定の役割を担った。なお、教育専門家との協議・助言については、カドグリ事務所スタッフとの間で随時行い、ハルツーム事務所とは必要に応じて電話等の遠隔によって実施した。		
(3) 達成された成果	期待される成果 児童が基礎学力を身に付けるとともに、就学・復学する機会を得る。又は、職業訓練校に進む。	指標 ・対象となる児童の 70% (約 220 人) 以上が補習校を修了する。 ・上記の内 45% (約 100 人) 以上が正規の	達成度 ・開始当初の 1 月には計画の 320 人に対して 510 人が登録し、新型コロナウイルスの影響で活動休止するまで出席率 80%程度で推移した。 9 月の再開にあたっては、児童の流入・流出があったため再登録を行い、最終的に 389 人が登録し、99%にあたる 387 人が修了試験を受験した。 ・修了試験を受験した 387 人のうち、91%にあた

		学校に就学あるいは復学する。 ・上記の内 30%（約 60 人）以上が職業訓練校に進む。	る 353 人が合格した。教育局・教師との協議の末、不合格であった 34 人も一定の学習経験が考慮され、正規の学校への編入が可能となった。しかし、一部の児童は反政府支配地域に帰還したり、カドグリ外に移動したりしたため、最終的に修了者の 92%にあたる 355 名が正規の学校に就学あるいは復学した。 ・参加児童の大半が小学生の年齢であったこと、10 代後半の参加者についても本人と保護者が教育を継続することを希望したことから、職業訓練には進まなかった。 これらの成果から「持続可能な開発目標 (SDGs)」のうち「目標 4 . すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」に寄与した。
	児童保護グループのメンバーがその役割や教育の重要性を理解し、児童が教育を受けられるようサポートする。	・研修に児童保護グループのメンバーの 70% (約 55 人) 以上が参加する。 ・育成されたメンバーの働きかけにより、住民が補習校の実施において、役割を担う (例: 給食の調理係)	・補習校参加児童の保護者で関心の高い住民も含めて、対象 5 集落にて計 2 回ずつ児童保護や教育の重要性についてのワークショップを実施し、延べ 468 人が参加した。 ・新型コロナウイルスによる休校前までは、コミュニティから母親たちが給食の調理担当として、補習校に通う児童の教育をサポートした。補習校再開後には、調理は実施しなかったが、行動力のある住民を中心に定期的な会合をもった他、修了試験の案内、修了式の運営や集落への呼びかけなど一定の役割を担った。
(4) 持続発展性	1-1 補習校支援 補習校を修了した児童たちが継続して正規の学校に通えるように、教育省・郡役場の担当者と協議し、学費や登録料を支払う必要がないことを		

	書面にて確認した。さらに年齢や修了試験の結果に応じて、編入する学年を1年生から6年生まで適切に決定したことにより、継続的な就学が期待される。 また小学校舎の施設・備品の維持・管理については、引渡し時に学校、PTA及び生徒に対して施設・備品の取り扱い方法及び修繕の責任について説明し、理解を得た。また元々小学校にあった老朽した机・椅子についても、コミュニティが中心となり修繕することが話し合われた。 1-2 児童保護グループ支援 保護者の教育に対する関心が一定程度高まり、関心が高く行動力のある住民が、給食調理や正規学校への就学継続状況を確認するフォローアップに参加するなど、就学促進への貢献がみられる。カドグリ外に流出した児童を除くと、修了者の92%が正規の学校で就学を継続していることから、保護者の間で教育の重要性の理解が広まったと言える。第2年次事業を通して、住民・行政・学校の連携が強化され、児童の就学及び就学継続がより促進されることを目指す。
--	---